

「アーツカウンシル新潟」スタッフ略歴

プログラムディレクター
杉浦 幹男 (すぎうら みきお)
<p>フリーのアートプロデューサーとして活動の後、大手シンクタンク企業に主任研究員／グループ長として勤務。</p> <p>一方で、自治体支援のもと文化コンテンツ関連企業の資金調達の仕組みづくりに従事するほか、公立研究施設での文化産業論の研究やアートスペースの運営、アニメ・映像メディア等のイベント開催も担当。</p> <p>さらに、全国のコンテンツ産業の支援組織であるNPOで、コンテンツ関連イベントや調査、若手人材の発掘、育成等の事業に従事。</p> <p>(公財) 沖縄県産業振興公社の産業振興部ハンズオンマネージャーを経て、平成24年に(公財) 沖縄県文化振興会文化芸術推進課プログラムディレクター(沖縄版アーツカウンシル事業担当)に就任。3年8か月の間に、延べ116の文化芸術団体・事業の事務局機能の整備、若手人材の育成を支援。</p> <p>あわせて、公立大学の文化・芸術研究センターで特任准教授として勤務。</p>
著書
<p>「創造都市の連携と創造産業」(共著。NTT出版『価値を創る都市へ～文化戦略と創造都市』)</p> <p>「沖縄文化を政界へ～2020年東京五輪を契機とした地域文化発信の可能性」(共著。勉誠出版『TOKYO1/4と考える オリンピック文化プログラム～2016から未来へ』) など</p>
プログラムオフィサー
大内 郁 (おおうち かおる)
<p>交響楽団事務局企画制作部アシスタントを経て、行政の生涯学習指導員としてミュージアム開設準備やアートイベントの立案・実施業務に従事。</p> <p>さらに、NPO団体で学芸員として、アールブリュットミュージアムの運営のほか、展覧会、シンポジウム、盲学校や障がい者授産施設等でのアウトリーチワークショップ等を企画・実施。</p>
高橋 郁乃 (たかはし あやの)
<p>公立文化施設において事業担当として、コンサートや演劇ワークショップの企画・運営・広報業務などに従事。</p>
臨時職員
一之谷 歩 (いちのたに あゆみ)
<p>観光協会で学芸員として、所蔵品の管理・研究・調査や美術館のイベント企画・運営・広報を担当。</p>

